

令和3年度 一本松中学校学校評価(学年末)

愛南町重点目標

評価規準 A：目標を達成 B：6割以上肯定 C：4割以上肯定 D：4割未満 サンプル数 教職員(8人) 生徒(48人) 保護者(39人) 地域住民(29人)

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	学校による考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果(%)			
					4	3	2	1
3 確かな学力の定着と向上	(1) 楽しく、わかる授業の充実	前期評価	◇クロムブックの利用など、新しい学習方法に多くの教員が取り組んだ結果だと思われる。 ◆生徒の9%、保護者の12%が、学習に対する何らかの悩みを抱えていることがうかがえる。個別の指導やより生徒の実態を踏まえた学習支援に努めていく必要がある。	教職員アンケート	56	44	0	0
		学年末評価	◇クロムブック等のコンピュータの利用が定着し、授業の工夫によりそれぞれの生徒に対応した支援を行ったことで生徒の肯定的な意見が増えたのだと思う。 ◆授業改善に努めるとともに、個別指導や実態を踏まえた学習支援を継続し、通信等で情報を発信していく。	教職員アンケート	25	65	0	0
	(2) 問題解決的な学習の充実	前期評価	◇日々、研究の視点を意識した授業を展開してきた結果だと思われる。 ◆教師間の研究授業や授業参観を計画的に行う必要がある。それより、効果的な授業展開についての情報を共有し、生徒の主体的・対話的で深い学びにつなげていく。	教職員アンケート	33	67	0	0
		学年末評価	◇三つの視点に基づくクロムブックやデジタル教科書等の活用が効果的であったと考える。 ◆日々の授業で培ってきたことを、研究授業等によって共有することを継続し、より一層充実した学習を展開していく。	教職員アンケート	13	87	0	0
	(3) 教育のデジタル化の推進	前期評価	◇教師や生徒は、クロムブックやデジタル教科書等を活用を評価していると考えられる。 ◆生徒・保護者の中には否定的な意見もあることから、個に応じた活用の仕方や家庭での活用方法を検討する必要がある。	教職員アンケート	33	67	0	0
		学年末評価	◇端末の活用が推進され、ほとんどの生徒が楽しいと感じている。保護者には、実際に活用の様子を公開することができ、多くの理解が得られたと、感想からうかがうことができた。 ◆授業や家庭での効果的な活用を、今後も検討していく必要がある。	教職員アンケート	25	75	0	0
	(4) 家庭学習習慣の定着	前期評価	◇生徒・保護者と教職員間に意識のずれがある。また、教職員・生徒・保護者のいずれも、否定的な回答が少なくないことから、家庭学習の取り組み方に問題があると考えられる。 ◆学習時間調査とゲーム・SNS時間調査から実態を把握し、学校と家庭との連携を図ることが必要である。	教職員アンケート	0	33	67	0
		学年末評価	◇2学期期末テスト期間の学習時間調査では、平均約4時間であり、目標値は達成できていた。しかし、保護者は、前回よりも否定的な回答が増えた。テスト期間以外の日々の学習に課題があると思われる。 ◆テスト期間外にも生徒が習慣的に学習に取り組めるよう、生徒に投げ掛ける。また、生徒が勉強したいと思えるような工夫をする必要がある。	教職員アンケート	33	35	22	11
	(5) 図書館機能の活性化	前期評価	◇アンケート調査を基に図書配架を考慮したが、生徒の読書量の増加にはつながらなかった。また、教科書等でもあまり活用されていない。 ◆朝読書の継続とともに、読書週間にブックウォーク、国語科でビブリオバトル等に取り組んだり、総合的な学習の時間で利用できる図書の紹介をしたりするなどして、図書館の活用に努める必要がある。	教職員アンケート	0	44	56	0
		学年末評価	◇読書週間中のブックウォークや集会、国語科での言語・表現教材学習、ビブリオバトル、総合的な学習の時間の調べ学習など、図書及び図書室の活用に努めたことで、利用者は上昇傾向にある。しかし、アンケートの数字には表れていない。 ◆多様な教科に活用の場を広げることが必要である。	教職員アンケート	13	37	50	0
	(6) 教職員の資質・教科指導力の向上	前期評価	◇コロナ禍においてもオンラインによる学校内外での各種研修に熱心に取り組んだ結果だと思われる。 ◆今後も研修に努めるとともに、個人の研修内容を全体で共有することによって、一中教職員のチームとしての資質・指導力の向上を図っていく必要がある。	教職員アンケート	11	89	0	0
		学年末評価	◇個人の研修の成果を授業公開の中で提示したり、職員室での会話に耳を傾けたりすることで共有し合ったことを、歩みの速度差はあっても教員全体の資質を向上させていると考える。 ◆教職員間の情報共有をさらに密にして、全体的な指導力の向上に努めなければならない。	教職員アンケート	13	87	0	0
学校運営協議会の所見	前期評価	○「楽しくわかる授業の取組」は、先生方の御努力の賜物である。引き続きよろしく願いたい。 ○ クロムブックやデジタル教科書等の活用は、ますます大事な領域となるので積極的に取り組んでほしい。 ● 家庭学習90分の習慣化は、改善が難しい。生徒自身に投げ掛け、考えさせてみるのはいかがでしょうか？ ● 図書館の利用について、どうして活用しないのか、その理由を調査してみてもどうか。		学校の対応	前期評価	・従来の学びとICTを最適に組合せ、楽しくわかる授業に努める。また、生徒にはICTの技能を習得させていく。その中で、図書館の有効活用も組み込んでいく。家庭学習90分は、生徒とともに改善策を検討する。		
	学年末評価	○「楽しくわかる授業」への生徒の評価が向上しており、先生方の御指導の成果ではないかと思う。 ○端末の活用について、保護者の理解が得られたことは大きな励みである。 ●学習時間1日90分の習慣化について、評価は変わらないが、生徒の肯定率は上昇している。定着は一朝一夕にはいれないが、今後も地道に根気良く指導・工夫を継続していただきたい。 ●家庭学習や図書館利用について、優先順位のつけ方や時間の使い方について学ぶ機会を設けてはどうか。			学年末評価	・一人一台端末の効果的な活用により、楽しくわかる学び、学力の保障に努める。また、家庭学習の充実に向けた活用も検討する。 ・図書館の更なる活用のため、計画的・組織的な取組を推進する。		